

令和元年度 ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト 読書活動支援者育成事業研修会



日時：令和元年6月19日（水） 10：05～15：50
場所：郡山市労働福祉会館2階中ホール 参加者：68名

実技発表（10：15～11：25）

「心を引き込む語り部の世界へ」

講師：小野町教育委員会生涯学習課副主幹 籠田 まき子氏

- 「姥捨て山」
- 「かたれやまんば」から「くさかった」
- 「十二支の話」
- 「つぶたろう」

「語り」を実践する中での心構えや籠田さんの語りに対する思いをお話していただきました。地元小野町の言葉を使った語りは、聞き手との距離を縮めて親近感がわく語りでした。「語り」は決して高度な技術ではなく、誰もが挑戦できる身近なお話として、それぞれの活動場所では是非実践してほしいと思います。



実践発表（11：40～12：10）

「豊かな学びと豊かな図書を創出する学校図書館」

講師：郡山市立芳賀小学校教諭 齋藤 裕美氏
学校司書 佐藤 初子氏

平成30年度子どもの読書活動優秀実践校として文部科学省表彰を受けた郡山市立芳賀小学校での日々の実践を発表していただきました。並行読書や図書ボランティアによる読み聞かせ、季節に合わせた図書室の掲示など、児童の学びと関連づけた具体的な実践が大変参考になりました。



講演・演習（13：10～15：40）

「科学の本っておもしろい

～子どもと楽しむ科学あそびと本～

講師：科学読物研究会 坂口 美佳子 氏

科学読物研究会より坂口美佳子先生をお呼びして、科学の本を使っでの講演・演習を行いました。

講演の中では、星に関するクイズや真空を作る実験など、子どもの好奇心をかき立てる活動を実践していただきました。また、先生から提示された科学読み物の本から、子どもが楽しく読みながら科学について学ぶことができる本をたくさん紹介していただきました。科学読み物のおもしろさや科学の不思議に触れるとともに、子どもたちへの読書活動の幅を広げるきっかけとなる研修になりました。今後、研修者の方たちを通して少しでも多くの子どもが身近な科学に興味を持つことができれば幸いです。

